研究への協力のお願い

女性の月経周期に伴う発汗反応の変動における末梢性発汗機構の寄与への検討

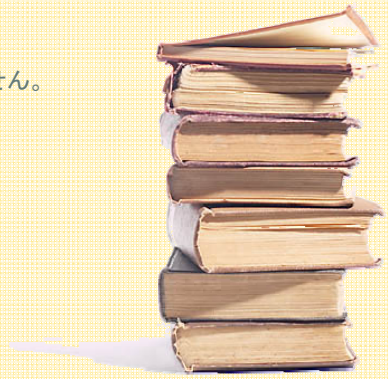
近年、性差医療が注目されていく中で、女性ホルモンの生理学的基礎データを構築していくことが必要とされています。そこで私は、女性の月経周期に伴う発汗反応の変動における末梢性発汗機構の寄与の関係性を明らかにしていきたいと考えています。これを明らかにしていくことは、更年期における血管拡張障害の解明につながる可能性があると考えています。

今回の研究では、深部体温の高低を伴う女性ホルモンの変動が、末梢性発汗反応機構に影響を与えるかどうかという研究を行っていきます。そこで本研究に興味のある方に、研究をご協力していただきたく、研究のご参加をご案内いたします。

■ 研究参加者

規則的な月経周期で、基礎疾患*をもたない健康な女子学生、20名程度

＊末梢血管障害・心機能障害・自律神経障害及び婦人科疾患をもつ方は、本研究の対象となりません。



■ 研究方法

・日時：2009年7月～9月

・場所：愛知医科大学大学院　研究棟　第Ⅱ生理学　人工気候室（212号室）

・測定回数：月経日・卵胞中期・卵胞後期・黄体中期の計4回

・測定項目：月経周期・体組成・採血・体温（鼓膜温・皮膚温）・皮膚血流量・発汗量・汗腺数

・測定方法：

実験を開始する1カ月前より基礎体温を測定していただきます。この測定によって、排卵日などを確定します。

実験当日は、開始前に体組成の測定と採血を行います。次に、人工気候室に入室してもらいます。ここでは、体温（鼓膜温・皮膚温）・皮膚血流量を測定しながら、定量的軸索反射性発汗テスト（QSART）で発汗量を計測し、計測後には汗腺数を測定します。

・測定時間：1回の測定につき2時間程度

■ 研究の倫理的配慮

愛知医科大医学部倫理委員会の承認を得て許可された研究計画に従い実施していきます。本研究に参加するか否かについては、研究参加者の自由意思に基づくものであり、たとえ同意されない場合でも、何ら不利益を被ることはありません。 一度参加の意思を表明してからでも撤回することは可能です。本研究によって得られた個人情報は、コード化し、個人情報が漏洩しないよう留意していきます。

■ その他

本研究参加者に対して、謝金があります。

☑ご協力いただける方は、下記までご連絡をお願いします。

愛知医科大学大学院医学研究科　生理学第Ⅱ講座　博士課程2年　鬼塚 知里（RN/PHN）

研究指導者：菅屋 潤壹　岩瀬 敏　西村 直記

連絡先　〒480-1195　愛知郡長久手町大字岩作字雁又21

Tel 0562-61-3311(内線 2212)　E-mail onizuka@aichi-med-u.ac.jp